

令和7年度北上医師会緩和ケア医療研修会アンケート結果

令和8年1月24日（土） 北上済生会病院大会議室

参加者 29名 アンケート回答 28名

<結果>

1. この講演会は、どのようにして知りましたか。

チラシ 8名 医師会の案内 5名 在宅きたかみの案内 13名 知人 1名
その他 1名（ホームケアクリニックえんからの紹介）

2. 参加した理由をお聞かせください。

- ・グリーフについて深く学びたかったから。興味があったから。5名
- ・死とかかわる仕事のため、ご家族とのかかわり、声かけ等の対応について学びたいと思ったから。3名
- ・仕事で死に関わる事が多く、いつもこれで良かったのかと気になっていたから。2名
- ・グリーフケアの研修を受ける良い機会と思ったから。2名
- ・仕事に役立つと思ったから。4名
- ・ご家族に寄り添えたらとの思いから。
- ・多職種の方との交流のため。
- ・自分が考えているグリーフケアとの違いがあると思ったため。
- ・自分の振り返りにも有用と思ったから。
- ・一般病棟でも必要と感じたため。
- ・今回の研修会をSNSでみたり、知人の誘いがあったから。
- ・介護の仕事に関わり、知らないことが多く、少しでも学びたい知りたいと思ったから。
- ・個人的に橋本先生のグリーフケアを受けた知人から、「とても良かった」と勧められ、橋本先生の話を知りたいと思ったから。
- ・看取りが近い利用者がいるため。
- ・今まで一生懸命ケアをしてきた息子を亡くされてお母様や、同居していた両親が亡くなり、ひとりで生活しなければならなくなった方のこころの相談を行うことがあり、どのようなサポートが必要であるか、そもそもグリーフケアがどんなことか学んでみたいと思ったから。
- ・住職として日常的にグリーフを抱えた人と接することが多い。前職は介護施設に勤務していたこともあり、亡くなる前後のケアについて考えたかったから。
- ・日頃、施設での看取りと坊さんとして、どうしても欠かせないケアであると思っていたため。

3. 内容はいかがでしたか？また、その理由は何でしょうか？

- | | |
|---------------|-----|
| (1) とても良かった | 23名 |
| (2) 良かった | 3名 |
| (3) 普通 | 2名 |
| (4) あまり良くなかった | 0名 |
| (5) 良くなかった | 0名 |

- ・グリーフケアについて知識を得ることができた。3名
- ・自分自身のグリーフの振り返りになった。2名

- ・わかりやすい内容だった。2名
- ・今後の仕事に役立つと感じた。2名
- ・グループワークが多く、負担感があった。2名
- ・自分の体験をたくさん振り返ることで、改めて自分の気持ちに整理ができた。
- ・グループワークが多くあったことで、いろいろな方の考えや体験談を聞くことができ、とても勉強になった。
- ・グループワークで、様々な立場の方からの話を聞くことができたので良かった。
- ・初めて学ぶグリーフケアだったが、とてもわかりやすかった。当たり前の反応であること、具体的な関わり方を知れた。
- ・グループワークをし、それを共有することも学びになった。
- ・グループワークで話を聞くことで、人それぞれの個性があることをより実感し、様々な経験や考えを聞き深めることができた。
- ・グループワークで様々な体験談を聞きながら、ケアの具体性を考えることができた。
- ・自らの身の上話を通じて、グループワークの時間が持てた。その内容の発表を受けて、先生が助言してくださったことで中身が深まったと思う。
- ・丁寧な内容で具体的だったので、とても分かりやすかった。
- ・実際にやっていたことを思い返す時間があつたので、救われた気がした。
- ・「悲しいことは悪くない」が、心にしみた。
- ・言葉は有害。むしろ傷つける可能性が高いことに気が付いた。耐える力を磨きたいと思った。
- ・身近になくなった人を思い出し、途中から話が身に入らなくなってしまった。
- ・グリーフケアの学びを深めるための時間がグループワークの前にもっとあると、有難いと思った。
- ・参加者がケア、ケアワーカーがほとんどなため、話がズレることがなく、スムーズなグループワークができた。
- ・基本的なことから、気持ちの捉え方まで知ることができた。支援する時も自分にとっても活用できる考え方だと思った。

4. ご本人にお尋ねいたします。

- (ア)年齢 20代2名 30代3名 40代4名 50代13名 60代5名 無回答1名
- (イ)性別 男性 9名 女性 19名
- (ウ)職業 医師1名 看護師8名 ケアマネージャー5名 薬剤師1名 作業療法士1名
介護支援専門員1名 機能訓練指導員1名 介護職員2名 医療職2名 保健師2名
支援学校教員1名 住職2名 行政1名
- (エ)居住地域 北上市19名 西和賀町1名 盛岡市2名 花巻市3名 金ヶ崎町1名
奥州市1名 一関市1名

5. 感想、要望

- ・とても良い研修会だった。3名
- ・このような研修会を今後も期待する。3名
- ・貴重な時間をありがとうございました。2名
- ・学んだことをこれから活かしていきたい。2名

- ・多職種の声聞くことができて良かった。
- ・グループワークに抵抗感があったが、話してみて楽しかった。
- ・寄り添い、言葉は有害。こちらだけが楽になってしまうことは良くない。大切な方だからこそグリーフになる。今後ご家族に寄り添っていきたい。
- ・改めて自分自身の気持ちに気付いた。
- ・自分のグリーフワークになった。
- ・やっとお話を聞くことができてよかった。
- ・結び直しと聞いて、心が軽くなった気がした。言葉はいらない。傾聴を心掛けたいと思う。
- ・適切な、愛着の形成が難しい環境にあるケースも多くなり、看取り～他界のプロセス間の家族の感情表出（攻撃的）に苦慮することが増えているように感じる。支援者を守る技術も聞くことができれば良かったと思う。
- ・色々な思いを吐き出せる時間もあって、時間が足りないと感じた。多くの医療職、介護職の方にも知って欲しい内容だった。
- ・グリーフについて再確認した。職種がグループケアに関わりやすいため、サポートを学べた良い機会だった。個別の対応としてお節介過ぎず寄り添う、自分を見つめ直す、思い出す機会になった。
- ・緩和ケア医療分野も様々で、シリーズ的なものも必要なのかなと感じた。看取りだけでなく、在宅のこと、地域のこと、家族のことなど。
- ・遺族との関わり方に難しさを感じていたが、無理に何かを言おうとしなくてよいということが新たな学びだった。話を聞きながら、故人に思いをはせたり、遺族をサポートしたりする姿勢を大切にしたい。
- ・先生の声も聴きやすくよかった。